

会長 橋本正巳
新潟県山岳協会
上越市南城町2-3-37
TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
柿崎町百木1023
TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 諏訪恵一
TEL 0258-35-4373

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

県北で親睦登山 朝日村新保岳

関川村山の会 横山 征平

10月30、31日の両日に渡って

朝日村高根集落と新保岳(852・2メートル)を会場に、新潟県山岳協会平成16年度親睦登山が開催された。

初日の30日は朝日村高根集落の旧小・中学校で、現在の集落の研修センターをお借りして、研修会および懇親宿泊を実施した。雷雨の悪天候になったが、辺地ではむしろ落ち着いた研修になった。

研修では、阿部信一副会長からチャジャマ峰(中国)遠征のご苦労報告をお聞きした。BC到着までの悪路事情の苦労、BC周辺の花園、最終アタック時の苦闘話など、いざれ発行されるだろう報告書が楽しみな、内容盛りだくさん名興味深いお話であった。他に片桐理事長から10月23日発生の中越地震について、スライドを使つての研修も行

翌31日は前日の雨も上がり、予定どおり新保岳親睦登山を実施した。登山参加者は二十三人。登山口は、麓からであつたが、いまでは標高約五〇〇メートル辺りまで林道が延びこの先は行き止まりだが、将来は日本海の国道三四五へ繋がる計画だとか。登山口には駐車場も整備されていた(十台駐車可)。展望がよく、眼下に朝日村が「まほろばの里」といわれるに相応しい風景となつて眺望できる。登山道はいきなり急登が始まるが、見事な紅葉(黄葉とブナ林)と、息が弾まない。一行は紅葉に染まりながらの楽園散歩で、一時間余りで山頂に着した。一等三角点を中心に百人は楽に休める。

山頂からの眺望もこれまた素晴らしいの一言に尽きる。

朝日連峰・飯豊連峰・弥彦など一大パノラマで粟島などは役場庁舎まで目視できた。お天気と、景色に感わされ主目的の会員相互の親睦が疎かになりかけた親睦登山であつた。地元の三面山岳会の遠山実さんには実施にあつて、お世話になつた二日間であつた。



山頂での記念写真

平成16年度

第二回理事会 概要

平成16年10月30日(土)

朝日村 (旧)高根小学校

議題1 専門委員会前期事業報告及び後期事業計画
○総務委員会

橋本正巳会長の挨拶に続いて議事の審議に入る。

七沢恭四郎委員長
クライミングボード建設協力金は9月末現在、114・8万

円。9月4日にボード一般公開の式典を挙げる。賛助会11名の方々から入会をいただく。11月20日から全日本登山体育大会があるが、本県からは申し込みなし。1月22日に新年会を上越市で予定。

○指導技術委員会

阿部信一委員長

冬山講習会を2月19日～20日、上越青田南葉山で予定。

○遭難対策委員会

榎井利幸委員長

遭難防止チラシを新しく印刷配布した。6月26～27日に日山協遭難対策委員会研究会出席。7月8～9日の全国遭難対策協議会が高知市で開催され、出席した。後期事業計画では、来年に救急法講習会を2回計画、会場は新潟市、長岡市を予定したい。

○自然保護委員会

本間一人委員長

本年度自然保護研修会の行事終了、5月に五頭山で、10月に銀山平で実施した。

○中高山登山委員会

山田弘二委員長 欠席。

○国体委員会

森 庄一委員長

埼玉国体に成年男子、少年女子が参加した。応援感謝。11月13～14日に北信越五県連絡協議会が上越市で予定されているので、ご参加願いたい。

来年度2月に競技部ブロック(審判員研修会)研修会が予定されている。(富山県担当)

来年度の国体予選会を上越か、下越地区で実施したい。

○クライミング委員会

代理・稲田事務局長

11月14日にクライミング講習会を計画(場所未定)。

○海外登山委員会

小林重一委員長 欠席。

○婦人委員会

山田智子委員長

10月24日に「銀の道」計画だったが、地震のため中止した。

○ジュニア委員会

渡辺正之委員長 欠席。

○会報編集委員会

諏訪恵一委員長 欠席。

議題2 新潟国体対応組織の立ち上げ

遠藤副会長から、配布資料に基づき説明があった。県からの要請もあり、2009年の二巡目国体について対応できる組織を立ち上げた。現行の競技部を『国体準備室』として改組し、競技役員(育成)担当(森副会長)、競技施設担当(稲田事務局長)、選手強化担当(今井浩二さん)、総務担当(遠藤副会長)を原案として考えたいので、検討していただきたい。4名の担当された方々から協力依頼があったら、ご協力願いたい。

来年度の新年会頃に体制固めを目指したい。(理事会了承)

議題3 協会個人会員制度への取り組み

榎井遭難対策委員長から、配布資料に基づき説明があった。

未組織登山者に対して山岳遭難事故の防止や、自然保護の意識を高めることなどを目標として、広く門戸を開き、制度を作って行ったらどうか。遭難対策委員会としては、有意義な制度と考えている。

ワーキンググループでルール作りを考え、取り組んでいくこととする。(理事会了承)

議題4 その他

・今年度の海外登山報告(チアジャジマ峰初登頂・ガンシカ峰初登頂) チアジャジマ峰は、3名が初登頂できた。応援いただき、感謝。(阿部副会長)

ガンシカ峰は9月30日に登頂達成。長野県中高山登山団体連絡協議会が主催(新潟県山岳協会後援)し、本県から後藤正弘理事が参加されて、自ら初登頂された。(理事長)

・クライミングボード事業結果報告 9月末現在で114・8万円集まった。10月に2万円ご協力あったので、116・8万円。クライミングボード建設負担金は87万円で、協力いただいた方々にTシャツ代金312、709円。200着作成。現在120着ほど配布済み。引き続き、ご協力を願いたい。クライミングボードに関する『覚書』を配布。その内容で運営して

いる。(理事長)

・埼玉国体の結果報告 先ほどの報告どおり、成年男子クライミング競技は12位。少年女子縦走競技5位。クライミング競技15位。新潟県中越地震の中、立派な成績を収めた。(森副会長)

・「新にいがた花の山旅」の作業状況 上・中・下越地区で締切日となり、集約をお願いしたい。(理事長)

・日本中央分水嶺踏査計画の状況 おおむね完了。来年に継続調査で、巻機山・清水峠。平標山・三国峠が残っている。ご協力願いたい。(平田大六 参与)

・第一回SCC杯フリークライミング競技新潟大会後援について 12月5日に、スクエアークライミングセンター新潟店が、新潟市で上記大会を開催するので名義後援をお願いしたい要請があった。(理事会了承)

・来年度の役員改選(協会規約の改正)

新年度から『国体準備室』を立ち上げると規約改正などの作業が発生するので、執行部で関連する準備を始めた。(理事入会了承)

・市町村合併による協会加盟団体・会員の住所名変更

まもなく市町村合併が始まるので、可能な限り早く、名称変更などあれば、理事長までお知らせ願いたい。(理事長)

・慶弔費の取り扱いについて
JAC越後支部の内規を参考にさせていただきます、対応の

目安を決めて行きたい。(理事長)

・緊急災害についての対応
難しい問題があるので、折に触れて検討していきたい。

10月24日に、今回の災害に対して兵庫山岳連盟よりお

見舞いのファクスが橋本会長あて届いたことを披露。

議事終了後、内藤修顧問より、閉会の挨拶があった。

報告、文責 片桐一夫理事長



姿見池から噴煙を上げる第四紀火山の大雪山旭岳

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

③ 百名山の地質展望②

百名山を個別的に展望すると、北海道は幌尻岳が新第三紀のかんらん岩の他、利尻・羅臼・斜里・阿寒・大雪・トムラウシ・十勝・羊蹄の各山は、すべて第四紀火山岩です。東北は、古生代オルドビス紀の早池峰山蛇紋岩・朝日・飯豊山が白亜紀深成岩、会津駒がジュラ紀の堆積岩の他、岩木・八項だ・八幡平・岩手・鳥海・月山・蔵王・吾妻・安達太良・磐梯山と、北海道と同じく第四紀火山岩(安山岩・玄武岩)から成っています。

関東信越は、古生代から新生代まで変化に富み、至仏、谷川岳が古生代変成岩・蛇紋岩、魚沼駒・平ヶ岳・巻機・筑波山が中生代三畳・ジュラ・白亜紀、火打・雨飾・高妻山が新第三紀のひん岩、那須・燧・苗場・妙高・男体・奥白根・須貝・武尊・赤城・草津白根・四阿・浅間山は第四紀の火成岩と成ります。

このように、筑波山以北の百名山は、44座中実に30座が新期火山の噴出岩より形成された新しい山々が多いのです。

クライミングボード設置募金の

お願いと御礼

12月度は、左記の方々より募金にご協力をいただきました。ありがとうございます。

【12月度募金御協力者】
杉原八百樹様(下越山岳会)
総務委員長 七澤恭四郎

施設運営にも費用が発生いたしますので、引き続き皆様方からの募金をお願いいたします。御協力をよろしくお願いたします。

海外・国内旅行、主催・手配



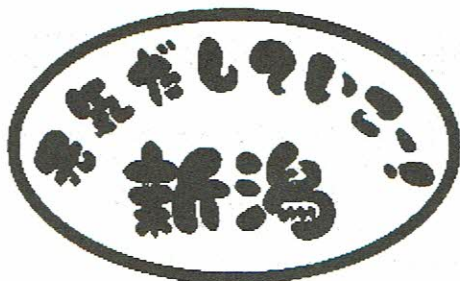
ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行事業第553号・IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

☐長岡営業所 〒940-0064 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎(0258)33-7123
経理/旅行業取締役主任者 森 誠哉

☐新潟営業所 〒950-0918 新潟県長岡市2丁目2番11号 ☎(025)246-2266
経理/旅行業取締役主任者 中島 豊



「ピッケル展」協力のお願

日本登山史においてピッケルと言う道具に求められた機能と変容を辿り、人間と道具の関係を考察する「ピッケル展」(主催：関川村教育委員会、協力：関川村山の会)が、次の通り企画されている。

関川村山の会では、ピッケル二百本を目標に準備を進めており、展示資料としてのピッケルの貸与募集について紹介する。

「ピッケル展」

開催期間 2005年8月31日

日から10月16日まで

開催場所 せきかわ歴史とみちの館

ピッケル募集要項

① 無料借用とさせていただきます。

② 資料貸与者の持ち込み・撤収を原則としますが、遠方の場合は搬入着払いで送付することが出来ます。

③ 持込期間は、2005年2月1日から8月10日とします。

④ 持込場所は開催場所です。

⑤ 期間中の貸与資料の持ち出しは、貸与者が必要な場合は自由に可とします。

⑥ 貸与資料には次のデータをつけてください。

- ・所有者名
- ・所有者住所(連絡先)
- ・ピッケルデータ
- ア 銘
- イ 柄 木・金属
- ウ 穴 有・無
- エ ピックのギザ 有・無
- オ 寸法(mm) 本体/全長
- カ 付属品
- キ ピッケル履歴
- ク 登山時の使用写真
- ケ 評価額(保険用)
- コ その他(由来など)

この件に関する問い合わせ先

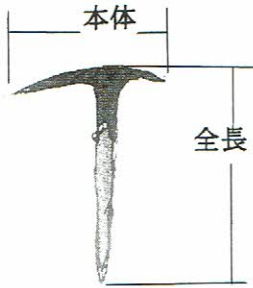
関川村山の会

〒959-1325

関川村小見237

平田大六方

Tel 0254-64-1245



山岳遭難共済

	契約基本タイプ				
	A	B	C	D	E
死亡・後遺症	180万円	200万円	300万円	400万円	1000万円
遭難捜索費用	200万円	200万円	250万円	350万円	500万円
個人賠償責任		1億円	1億円	1億円	1億円
会費	5,500円	6,200円	8,000円	11,000円	18,000円

※上記各コースには、入院・通院の保証は付帯されません。

	保険金額(1日につき)
入院	3,300円
通院	1,000円
追加会費	4,000円

※入院保険金・通院保険金を付帯する場合は、4,000円が各コース会費に加算されます。

特別共済

タイプ	I型	II型
会費	3,000円	6,000円
死亡・後遺障害保険金	300万円	300万円
救援者費用保険金	300万円	300万円
個人賠償責任保険	1億円	1億円
入院保険(1日につき)	2,000円	4,000円
通院保険(1日につき)		1,700円

海外登山共済

死亡・後遺障害	100万円
救援者費用	500万円
個人賠償責任	1億円
追加会費	10,000円

※海外登山共済は、この保険単独では加入できません。

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西雪内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>